

「農地法第4条第1項第5号の規定による農地転用届出書」記入要領

枠外

【届出者】

- ・届出者の住所氏名を記入してください。
- ・氏名を自署する場合は押印を省略することができます。
- ・住所又は氏名が土地登記簿謄本記載のものと異なる場合は、申請までに変更登記をするか同一人であることを証する資料として住民票・戸籍の附票等を添付してください。
- ・共有等で届出者が複数の場合は「別紙のとおり」と記入して別紙を添付してください。
- ・土地登記簿謄本記載の名義人が死亡している場合は申請までに相続登記を行なうか、それが不可能な場合は土地の所有者であることを証する資料として戸籍謄本・除籍謄本・相続関係説明図等を添付してください。
- ・代理人が届出をする場合には、その旨を記載して委任状を添付してください。

【年月日】

届出書を提出する年月日を記入してください。

枠内

【1】届出者の氏名、職業、年齢

氏名、職業、年齢をそれぞれ記入してください。

【2】土地の表示等

- ・「市町村」「大字」「字」「地番」「面積」欄には土地登記簿謄本記載の内容をそれぞれ正確に記入してください。
- ・「地目」欄の内「登記簿」欄には土地登記簿謄本記載の内容を、「現況」欄には現在の状況をそれぞれ記入してください。
- ・空欄のできる場合は「以下余白」と記入してください。
- ・筆数が多数で欄内に記入できない場合は「別紙のとおり」と記入して別紙を添付してください。
- ・一筆の土地の一部を転用する場合
面積欄には「 m^2 の内 m^2 」と記入して地積測量図等の転用する部分を特定できる図面を添付してください。
- ・「小作権の設定の有無」欄は「有・無」のどちらかを で囲んでください。なお、小作権が設定されている場合は契約を解約する等の手続きを行なった後に届出をしてください。
- ・「耕作者氏名」欄は耕作を行なっている方の氏名を記入し、休耕等で耕作されていない場合は「なし」と記入してください。
- ・「所有者氏名」欄は土地登記簿謄本記載の所有者氏名を記載し、共有の場合は「
外名」と記入してください。

【3】 転用計画

- ・「(1) 用途」欄は具体的な利用目的を記入してください。
- ・「(2) 転用の時期」欄
 - 「工事着手」欄は「受理後」と記入してください。
 - 「工事完成」欄は具体的な年月日を記入、もしくは「受理後 〇ヵ月」と記入してください。
- ・「(3) 開発許可を要しない転用行為にあつては都市計画法第29条の該当号」欄は、建築指導課で該当号を確認して記入してください。また、開発許可が必要な場合は許可されたことを証する書面の写しを添付してください。
- ・「(4) 転用の目的に係る事業又は施設の概要」欄
 - 「建築物又は工作物の名称」欄は利用目的ごとに具体的に記入してください。
 - 「所用面積」欄には転用目的に必要な用地全体の面積を記入してください。したがって、転用する農地以外に宅地等と一体で使用する場合は、それらの土地を合わせた面積を記入していただくことになります。

【4】 被害防除

転用することによって付近の土地・作物等へ被害が発生する場合に、それに対する防除措置の概要を記入して、被害の発生がない場合は「被害発生なし」と記入してください。